

所属・氏名（保健医療学部 診療放射線学科 氏名：向田 一郎）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文)筆頭論文 Specimen Preparation Technique for High Energy Ion-irradiated Metals by Cryo-FIB Thinning Technique	共著	2006年9月	Proceedings of 16th International Microscopy Congress (2006) pp. 1081.	集束イオンビーム(FIB)加工装置による透過電子顕微鏡用試料作製時における、加工時に導入される欠陥の性質およびその除去方法についての検討を行った。特に研磨時欠陥の導入を抑制するためには液体窒素ホルダを用いた低温における研磨が有用であることがわかった。 (当該論文のページ数: 1頁) (当該論文の著者名:I. Mukouda, T. Iiyama and Y. Shimomura) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2 (学術論文)筆頭論文 FIB 加工による照射欠陥形成 と集合体形成の抑制	単著	2006年12月	顕 微 鏡, Vol. 41, No.3 (2006) 167 - 169.	集束イオンビーム(FIB)加工装置による透過電子顕微鏡用試料作製時における、加工時に導入される欠陥の性質およびその除去方法についての検討を行った。特に研磨時欠陥を電解研磨により化学的に溶かす方法により鮮明な画質でイオン照射欠陥を捕らえることに成功した。 (当該論文のページ数: 4頁) (当該論文の著者名:向田一郎)
3 (発表) 身近な金属材料の性質を知る 実験	単著	2007年2月	明日から使える理科 教材ワークショップ (Ⅲ・Ⅳ)報告書 pp. 24.	我々の生活のなかで、金属材料は身の回りに非常に多くのものに使用されている。(例えばコイン・鍋・やかん・電気配線など)本実験においては身近な金属材料に実際に触れて、自分自身で体験し確かめることを目的とする。実際に材料を加熱・冷却して体験的な実験を行い、おもしろい実験であると好評であった。 (当該報告のページ数: 1頁) (当該報告の著者名:向田一郎)
4 (報告) Damage Evolution in Neutron-irradiated Metals during Neutron Irradiation at Elevated Temperatures	共著	2005年 ～ 2010年	KURRI Progress Report 2004, pp 49. 2005, pp 100. 2006, pp 115. 2007, pp 84. 2008, 2009, pp 84.	2004年度から毎年申請している京都大学原子炉実験所共同利用の成果報告書 (当該報告のページ数: 各年度1頁) (当該報告の著者名:I. Mukouda, K. Yamakawa, T. Yoshiie, Q. Xu)